

さつませんだい女性活躍推進事業【薩摩川内市】

地域の実情と課題

平成30年度に実施した事業所アンケート結果によると、女性46.3%、男性5.4%が非正規雇用であり、管理職における女性比率は12.1%となっている。

また、市民アンケート結果によると、「仕事と子育てを両立できる環境が整っている」と感じる市民の割合が伸び悩んでおり、女性の活躍推進のためには事業所への積極的な働きかけが必要である。

事業の特徴

- ① 多くの女性が興味を持てるようロールモデルによる体験談を織り交ぜた女性スキルアップセミナーや、中小企業でも積極的に取り組んで業績を伸ばしている事例紹介を取り入れた女性活躍応援セミナーを実施
- ② 市内事業所の取組状況やアンケート結果を市ホームページ等で公表・見える化
- ③ 女性の職業生活における活躍推進を官民一体となって推進するため、薩摩川内市女性活躍推進協議会を開催

事業の効果

女性スキルアップセミナー及び女性活躍応援セミナーの参加者の約9割から高い満足度の結果を得た。女性の管理職等へのチャレンジ意識向上や経営者らの意識改革につながるとともに、参加者間のネットワーク化を図ることができた。

また、市内の幅広い構成団体による協議会の開催や、各種情報を積極的にホームページ等で情報発信することで、女性活躍推進の機運の醸成が図られた。

目的・目標

本市における女性の職業生活における活躍推進を官民一体となって推進するため、市内関係団体による協議会を設置し、女性が活躍できる環境づくりを進める。

【数値目標】

仕事と子育てを両立できる環境が整っていると感じる市民の割合

45%(H30)⇒66%(H31) 実績 52%(H31)

女性の活躍推進に関する担当部署・担当者を定めるなど事業所内での推進体制を整備している事業所の割合

53.2%(H30)⇒55%(H31) 実績47.3%(H31)

連携団体

薩摩川内市女性活躍推進協議会

(構成団体)

- | | |
|-----------|-------------|
| ・行政機関 | ・民間企業関係団体 |
| ・農林水産関係団体 | ・金融機関 |
| ・教育機関 | ・コミュニティ団体 等 |

今後の課題

事業所アンケート結果によると、女性も男性も同じような環境で働いていくために、特に女性にとって課題となっていることは、女性には家事・育児等に伴い配置や残業に制約があるといった割合が41.8%と高く、性別による役割分担の固定化解消が課題となっている。

今後も、仕事と家庭の両立に関してのノウハウやロールモデル等の具体事例を提示していく必要がある。

事業の概要

① セミナーの実施【継続事業】

これから働こうとする女性や現在働いている女性を対象としたスキルアップセミナーを実施(2回開催／延べ約90名が参加)。

経営者・人事労務担当者らを対象とした女性活躍応援セミナーを実施(1回開催／約60名が参加)。



② 女性活躍推進の見える化【継続事業】

平成29年度に市長をはじめ管理職ら120名がイクボス宣言を行うとともに、官民一体となって女性の職業生活における活躍を推進するため薩摩川内市女性活躍推進協議会を設置し、同委員による「イクボス推進宣言」も行われた。

これらのことを受け、イクボスの輪を市内全域に広げていくため、企業・団体等の事業所からのイクボス宣言を随時募集するとともに女性活躍推進に積極的に取り組んでいる市内企業等を認定・表彰する「薩摩川内市女性活躍推進企業」として認定・表彰を行った。

また、事業所の取組状況を把握するため、アンケート調査を引き続き実施。

これらの事業所の情報やアンケート結果を市ホームページ等で公表・見える化することで女性活躍推進の機運を醸成。



③ 薩摩川内市女性活躍推進協議会の開催

本市における女性の職業生活における活躍推進を官民一体となって推進するため、「薩摩川内市女性活躍推進協議会」を開催(委員26名)し、各構成員が連携・協力して女性活躍推進に効果的な施策を検討・協議・実施。

